

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年3月分)

2021年4月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[3月の新型コロナウイルス感染状況](#)

●[COVAXメカニズムを通じた新型コロナウイルスのワクチン第一便がBHに到着\(25日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[RS国民議会、OHR閉鎖等を求める決議を採択\(10日\)](#)

2. 外政

(1) 二国間関係

●[ブチッチ・セルビア大統領のBH訪問\(2日\)](#)

●[パホル・スロベニア大統領のBH訪問\(5日\)](#)

●[BH大統領評議会3メンバー等のトルコ訪問\(16日\)](#)

(2) 日・BH関係

●[伊藤駐BH日本国大使のバニャ・ルカ訪問\(2～3日\)](#)

●[伊藤駐BH日本国大使のBH要人への着任表敬\(9、16日\)](#)

3. 経済

(1) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●[各国がBHに対しワクチン供与を実施\(2、28日\)](#)

(2) 民間セクター

●[S&P、BHの信用格付けを“B”で据え置き\(3日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●3月の新型コロナウイルス感染状況

BH国内では首都サラエボ市を中心に新型コロナウイルス感染拡大の傾向が続き、3月の感染者総数は2月の3倍以上となる3万322人を記録。また、感染状況の悪化を受けて各自治体は感染予防措置を強化し、サラエボ市が位置するサラエボ・カントン(県)はレストランやカフェなどの営業に対する規制措置を強化した。

●BH独立記念日の祝賀行事の開催(1日)

アリヤ・イゼトベゴビッチ(故人、BH共和国初代大統領)財団主催のBH独立記念日祝賀行事がサラエボで開催され、ジャフェロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーおよびコムシッチ同クロアチア系メンバーが出席。一方でドディック議長(セルビア系)は例年同様出席せず、同記念日への反発姿勢を示した(注:1992年3月1日、ボスニア共和国が国民投票を経て旧ユーゴから独立を宣言、反発する国内セルビア系が独自の共和国(現スルプスカ共和国(RS))を設立した背景から、RSはBH独立記念日を受け容れておらず、同エンティティでは平日扱いとなっている)。

●BH議会、選挙法改正に向けた作業部会を発足の方針(17日)

BH議会上下両院議長団は、選挙法改正の論点整理を目的として、BH議会メンバーおよび閣僚評議会メンバー(注:その後BH中央選挙管理委員会メンバーも含める方針を決定)で構成される作業部会を発足する方針を発表した。なお、選挙法改正問題をめぐっては、国政与党のSDA(ボシュニャク系与党第一党)と

HDZ(クロアチア系与党)が昨年9月から独自に協議を行っているが、議論は停滞している。

●COVAXメカニズムを通じた新型コロナウイルスのワクチン第一便がBHに到着(25日)

COVAXメカニズムを通じてBHが調達予定の新型コロナウイルスのワクチン約123万回分のうち、第一便となる4万9,800回分(ファイザー製およびアストラゼネカ製)がBHに到着した。BH民生省は今後の見通しとして、4月末までに約8万回分、その後6月末までに約10万回分のワクチンがCOVAX側から追加供給される予定である旨発表している。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH検察庁、新型コロナ対応をめぐりノバリッチBH連邦首相等の捜査を開始(27日)

BH検察庁は、新型コロナウイルス対応およびワクチン調達の遅れにより市民の公衆衛生に危険をもたらしたとして、先に複数の市民団体がテゲルティヤBH閣僚評議会議長(首相)およびノバリッチBH連邦首相等を刑事告訴した問題をめぐり、ノバリッチ同首相等の刑事訴追の可能性も視野に捜査に着手した旨を発表した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS国民議会、OHR閉鎖等を求める決議を採択(10日)

RS国民議会はインツコ上級代表の後任人事問題などに関する特別会合を開催。同議会は連立与党の賛成多数により、RSの同意なく進められる後任人事は国際法違反である旨強く非難するとともに、OHR閉鎖などを改めて求める内容の10項目の決議を採択した。また

決議中ではRSのBHからの平和的離脱の可能性にも言及しており、同決議に対してBH国内外からは非難の声が上がっている。

●ステファノビッチ・セルビア副首相兼国防相のRS訪問(10、11日)

ステファノビッチ・セルビア副首相兼国防相がRSの中心都市バニャ・ルカを訪問し、ドディックBH大統領評議会議長およびビシュコビッチRS首相等と会談した。会談では、新型コロナウイルス問題の影響で延期されているBH国軍とセルビア軍の共同軍事演習を本年10月にBH国内で実施する方針のほか、RS内務省とセルビア国防省の協力方針などを確認した。

2. 外政

(1) 二国間関係

●ブチッチ・セルビア大統領のBH訪問(2日)

ブチッチ・セルビア大統領がサラエボを訪問し、BH大統領評議会3メンバーと会談を行った。また、同訪問に併せて、ブチッチ大統領は先にセルビア政府がBH連邦への供与方針を発表していた新型コロナウイルスのワクチン1万回分(アストラゼネカ製)の引き渡しを実施、これに対してBH大統領評議会は、COVAXを通じたワクチン調達が遅れる中での同ワクチン供与の意義は大きいとして謝意を述べた。

●パホル・スロベニア大統領のBH訪問(5日)

パホル・スロベニア大統領がBHを訪問し、BH大統領評議会3メンバー等と会談を行った。両首脳は、本年スロベニアが議長国となる予定の西バルカン諸国ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合の開催見通し、両国経済関係、および両国の新型コロナウイルス対策などに

つき話し合った。会談後、パホル大統領はスロベニアがBHに対して新型コロナウイルスのワクチン4,800回分(アストラゼネカ製)を供与する方針を発表した。

●BH・ドイツ外相会談(9日)

トウルコビッチ副首相兼外相(SDA所属)がドイツを訪問し、マース同国外相およびシュミット次期上級代表候補と会談を行った。両会談では、BH情勢、OHRを取り巻く現状、新型コロナウイルス対策、およびワクチン調達問題などにつき話し合った。この中でトウルコビッチ外相は、COVAXを通じたBHへのワクチン供給遅れの問題を指摘するとともに、同問題の解決に向けたドイツの協力を要請した。これに対してマース外相はBHの立場を理解する旨述べた。

●BH大統領評議会3メンバー等のトルコ訪問(16日)

BH大統領評議会3メンバーおよびミトロビッチ運輸・通信相がトルコを訪問し、エルドアン同国大統領と会談を実施。両首脳は新型コロナウイルス対応および両国関係の強化などにつき話し合い、エルドアン大統領はトルコがBHに対して新型コロナウイルスのワクチン3万回分(シノバック製)を供与する方針を述べた。また、会談にあわせてミトロビッチ大臣は、サラエボ・ベオグラード間高速道路建設を始めとする両国のインフラ整備協力に関する政府間協定に署名した。

●セラコビッチ・セルビア外相のBH訪問(17、18日)

セラコビッチ・セルビア外相がサラエボを訪問し、BH大統領評議会3メンバーおよびトウ

ルコビッチ外相等と会談を行った。各会談では両国の新型コロナウイルス対応およびワクチン調達問題などにつき話し合い、両外相はCOVAXを通じたワクチン供給遅れにつき問題意識を共有した。

●BH・サウジアラビア外相会談(22日)

トルコビッチ副首相兼外相がサウジアラビアを訪問し、ファイサル・ビン・ファルハーン・アール・サ우드同国外相と会談を行った。両外相は経済分野での更なる関係強化の方針を確認したほか、トルコビッチ外相がCOVAXメカニズムを通じたBHのワクチン調達の遅れにつき述べたのに対し、ファイサル外相は、本件につきサウジアラビアがBHを支援する準備がある旨を述べた。

●ディ・マイオ・イタリア外相のBH訪問(30日)

ディ・マイオ・イタリア外務・国際協力相がBHを訪問し、BH大統領評議会3メンバーおよびテゲルティヤ閣僚評議会議長とそれぞれ会談を行った。各会談では、経済分野を始めとする両国関係の強化のほか、BHのEU加盟プロセス、両国の新型コロナウイルス対応およびワクチン調達状況などにつき話し合った。

(3)日・BH関係

●伊藤駐BH日本国大使のパニャ・ルカ訪問(2～3日)

伊藤駐BH日本国大使はスルプスカ共和国の中心都市であるパニャ・ルカ市を訪問し、ツビヤノビッチRS大統領、ビシュコビッチRS首相、トゥリビッチRS教育・文化相、シェラニッチRS保健・社会福祉相、スタニブコビッチ・パニャ・ルカ新市長にそ

れぞれ表敬を行った。各会談では、経済・環境保全・観光・文化交流・教育等の分野における協力強化に向けて意見が交わされた。



(写真:伊藤大使とツビヤノビッチRS大統領)

●伊藤駐BH日本国大使のBH要人への着任表敬(9、16日)

伊藤駐BH日本国大使は、ミトロビッチ運輸・通信大臣およびクリシュトBH議会下院議長に着任表敬を行った。各会談では、様々な分野における両国関係の強化に向け意見が交わされた。



(写真:伊藤大使とクリシュトBH議会下院議長)

3. 経済

(1)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●各国がBHに対しワクチン供与を実施(2、2

8日)

COVAXメカニズムを通じたBHの新型コロナウイルスのワクチン調達が遅れる中、セルビア、スロベニア、トルコ、中国がそれぞれBHに対するワクチン供与の方針を発表。このうちセルビアがBH連邦に供与したアストラゼネカ製ワクチン1万回分が2日に、またトルコがBHに供与した中国製ワクチン(シノバック)3万回分が28日にそれぞれBHに到着した。

●チェコ政府、移民・難民問題対応で当地IOMに資金援助(24日)

チェコ政府は、BH国内における移民・難民問題対応支援として、当地IOMに対して500万チェココルナ(約20万ユーロ)の資金援助を行った。同資金は今後、IOMが管理するBH国内の移民・難民向け収容施設の運営費に充てられる予定。

●ポーランド政府、新型コロナウイルス対策で対BH支援を実施(28日)

ポーランド政府は、新型コロナウイルス対策支援として、BHに対して医療用のマスクおよび手袋各2万個を含む医療物資の供与を実施した。

(2)民間セクター

●S&P、BHの信用格付けを“B”で据え置き(3日)

国際的な信用格付け会社である米国のS&P(Standard and Poor's)は、BHに対する評価を“B”で据え置き、一方で、今後の見通しについては「前向き」から「安定的」に一段引き下げた。同社は、新型コロナウイルス問題による国内経済の減速を指摘しつつ、BHの格付け向上には構造改革に向けた政治対話

の深まりが必要との見方を示した。

●スロベニアのCablexがBH国内に工場を新設(4日)

欧州各国向けに電化製品および車載用の通信ケーブル機器の製造・販売を行うスロベニアのCablex社が、本年4月中にもBH北西部のプリエドル市(RS)に工場を新設する方針を発表した。報道によれば、同工場は操業開始に合わせ30人の雇用を予定しており、順次雇用規模を拡大する方針である。